
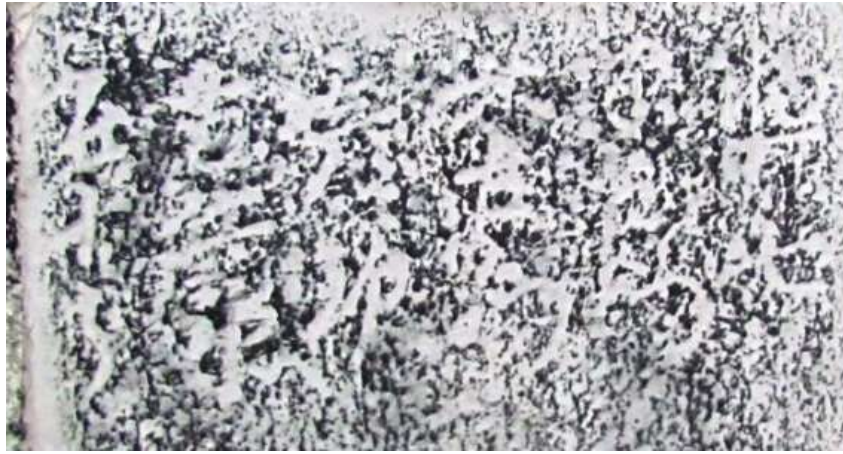



No.1	番号：1	庚申塔	所在地：吉橋 高本 八幡神社入口		
造立年月日：万治3・10・吉(1660)		像容：三猿 形状：笠付角柱型 法量：H 140cm W46 cm D47 cm			
銘文： 為庚申待現当二世悉地成就処 講人数十八一結諸衆 敬白(人名 18)					
	<p>特徴：</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1.万治3年銘は八千代市内最古</li> <li>2.三面に一猿ずつ丁寧に浮彫</li> <li>3.台座に水鉢が付く</li> <li>4.梵字有り</li> <li>5.笠と塔身が一石</li> </ol>	左面	正面	右面	
			<p>(梵字) 為庚申待現当二世悉地成就処</p> <p>講人数十八一結諸衆</p> <p>万治三天<sup>庚</sup>子十月吉日</p>		
			白 敬		
		猿(聞かざる)	猿(見ざる)	猿(言わざる)	
新十郎 三良右エ門 又四郎 甚四郎 勘十郎 与七郎	庄十良 吉兵衛 彦次 六左エ門 半左エ門 惣七	新藏 惣九郎 惣十郎 佐五良 四良右エ門 市左エ門			




No.2	番号：5	庚申塔	所在地：吉橋 尾崎 大師堂
造立年月日：延宝 6・10・12 (1678)		像容：なし 形状：笠付角柱型 法量： H148 cm W64 cm D63 cm	

銘文： 奉造立庚申供養所願成就処 敬白(人名 20)

 <p>特徴： 1.両側に華麗な未敷蓮華と波模様の浮彫 2.宝珠と台座を欠損 3.裏面に 20 名の名前を記す</p>	左面	正面	右面	裏面
	(未敷蓮華 波模様の浮彫)	<p>十月十二日</p> <p>奉造立庚申供養所願成就処</p> <p>敬白</p> <p>(蓮華)</p>	<p>延宝六 戊午 天</p> <p>(未敷蓮華 波模様の浮彫)</p>	<p>○右工門 良兵衛 權左工門 弥右工門 作左工門 作右工門 清右工門 七左工門 次右工門 甚七郎</p> <hr/> <p>○ ○ ○ 崑左工門 惣三郎 半蔵 弥七郎 勘左工門 作兵衛 秀清 道登 道保</p>

No.3	番号：9	庚申塔	所在地：吉橋 尾崎 大師堂
造立年月日：元禄元・11・吉（1688）		像容：	形状：笠付角柱型 法量： H105 cm W51 cm D 51cm
銘文： ②奉造立青面金剛庚申結衆二世安穩所 如我昔所願今者己満足 化一切衆生皆令入仏道			

	特徴： 1.文字塔 2.屋根にほぞ穴があり宝珠が付いていたと思われるが、宝珠は現存していない。 3.側面に未敷蓮華を浮彫り	左面	正面	右面
		(未敷蓮華の浮彫)  化一切衆生皆令入佛道 十一月吉日	(梵字ウーン) 奉造立青面金剛庚申結衆二世安穩所  如我昔所願今者己満足 元禄元戊辰	(未敷蓮華の浮彫)

No.4	番号：24	庚申塔	所在地：吉橋 花輪 八幡神社
造立年月日：正徳6・2・吉（1716）		像容：青面金剛 形状：笠付角柱型 法量： H180cm・W56 cm・D68 cm	
銘文： 吉橋村 同行二十三人			




特徴：


1. 合掌型六臂青面金剛像  
宝輪・弓・矛・矢を持つ
2. 頭がとぐろ形
3. 三猿が正面向きダイヤ形 (◇◇◇)
4. 雄鶏雌鶏を線刻
5. 邪鬼がない
6. 笠上の宝珠が未敷蓮華形


左面	正面	右面
<p>二月吉日</p> <p>吉橋村</p> <p>同行二十三人</p>	<p>(日月)</p> <p>(六臂青面金剛像)</p> <p>(二鶏)</p> <p>(三猿)</p>	<p>正徳六</p> <p>申</p> <p>天</p>

No.5	番号：26	庚申塔	所在地：吉橋 花輪 八幡神社
造立年月日：享保4・2・大吉(1719)		像容：青面金剛 形状：笠付角柱型 法量：H133 cm・W52 cm・D48 cm	
銘文： ③奉造立庚申供養講中所願成就 敬白 (人名38)			

	<p>特徴：</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>合掌型六臂青面金剛像 宝輪・弓・矛・矢を持つ</li> <li>頭がとぐろ形</li> <li>三猿が正面向きダイヤ形 (◇◇◇)</li> <li>雄鶏雌鶏を線刻</li> <li>邪鬼は左向きで 下帯 (ふんどし) を付ける</li> <li>縁枠内に彫像</li> </ol>	<p>左面</p> <p>新五兵衛 八郎兵衛 市兵衛 半三郎 長九郎          權三郎 岩右衛門 友右衛門 七郎兵衛 平治郎          清十郎 治兵衛 甚三郎 治郎兵衛 武左衛門          傳三郎 弥右門 九郎兵衛 金左衛門 長三郎          勘十郎 忠兵衛 市郎兵衛 半右衛門 甚重(郎)          吉重郎 貞右衛門 長五郎 七郎左衛門</p>	<p>正面</p> <p>(日月) (六臂青面金剛像) (二鶏) (邪鬼) (三猿)</p>	<p>右面</p> <p>(梵字ウーン) 奉造立庚申供養講中所願成就          享保四 己亥 天 吉橋村 敬          二月大吉日 をさき 白</p>
	<p>台座</p> <p>○ 勘左衛門          ○ 長拾郎          ○ 兵衛          ○ 五右衛門          ○ 源十郎          ○ 三郎右衛門          ○ 清三郎</p>			

No.6	番号：32	庚申塔	所在地：吉橋 高本 八幡神社
造立年月日：享保 11・11・20 (1726)		像容：青面金剛など 形状：笠付角柱型 法量： H 113cm W 48cm D40 cm	
銘文： ⑤奉造立庚申人救二世安楽攸 下総国千葉郡吉橋村内高本村(人名 27)			

 <p>特徴： 1. 縁枠内に彫像 2. 合掌型六臂青面金剛像、宝輪・弓・矛・矢を持つ 3. 三猿は正面向き、ダイヤ型 4. 村名を「吉橋村内高本村」と表現</p>	左面	正面	右面
	<p>享保十一丙午年十一月廿日</p> <p>岩松</p> <p>三太○ 藤三郎 助之丞 金兵衛 ○〇郎 助三郎 勘十郎 半三郎 徳兵衛 平三郎 十三郎 長次郎 清次郎</p>	<p>(日月) (六臂青面金剛像) (雄鶏・雌鶏) (邪鬼) (三猿)</p>	<p>下総国千葉郡 奉造立庚申人救二世安楽攸 吉橋村内高本村</p> <p>白 敬</p> <p>長十郎 勘九郎 半四郎 孫八郎 森右門 六之助 山三郎 猪之助 市三郎 權之丞 權四郎 益五郎 傳三郎</p>

No.7	番号：39	庚申塔	所在地：吉橋 寺台 字西芝山																					
造立年月日：享保 14・2・16 (1729)		像容：青面金剛 形状：笠付角柱型 法量： H 112cm W 53cm D38 cm																						
銘文：⑦奉造立庚申 二世安楽攸 (人名多数)																								
	<p>特徴：</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. 剣とショケラを持つ六臂の青面金剛像</li> <li>2. 三猿は正面向き、ダイヤ型</li> <li>3. 両側面に開敷蓮華を浮彫り</li> <li>4. 縁枠内に彫像</li> <li>5. 右面にも十数名の人名があるが、判読は不可能</li> <li>6 日月の月が右側</li> </ol>	左面	正面		右面																			
		二月十六日	(邪鬼) (日月) (青面金剛像) (二鶏)	二世安楽攸	(三猿像)	奉造立庚申	享保十四酉年																	
		安右門	吉右門	金兵衛	文四郎	權十郎	勘左右門	三〇郎	〇三郎	〇兵衛	久四郎	善四郎	〇兵衛	助五郎	〇四郎	〇兵衛	金三郎	文左右門	作左右門	源左門	七兵衛	能)	風化で判読不能)	(人名十数名)



No.8	番号：41	庚申塔	所在地：吉橋 花輪 八幡神社
造立年月日：享保 14・10・吉 (1729)			像容：青面金剛 形状：駒型 法量：H98 cm・W45 cm・D30 cm
銘文： ②奉造立庚申一字二世安楽処 吉橋花わ 同行廿五人			



- 特徴：
1. 合掌型六臂青面金剛像
  2. 上の左手が矛の代わりに独鈷を持つ
  3. 左右の猿の彫りが不鮮明

正面（右面・左面・背面には銘文なし）


奉造立 庚申一字 二世安楽処 吉橋  
花わ

(目)  
(梵字ウーシ) (六臂青面金剛像) (邪鬼) (三猿)

(月)


享保十四 巳 (巳)  
酉年 十月吉日  
廿五人 同行

No.9	番号：45	庚申塔	所在地：吉橋 花輪 八幡神社
造立年月日：享保 17・10・吉 (1732)			像容：青面金剛 形状：笠付角柱型 法量：H148 cm W46 cm D40 cm
銘文：③奉造立青面金剛庚申 吉橋村 (人名 36)			


 <p>特徴：                  1. 笠に日月の浮彫                  3. 髪がとぐろを巻いたへび                  4. 合掌型六臂青面金剛像                  宝輪・弓・矛・矢を持つ                  5. 面⇒異体字</p>	左面	正面	右面
	享保十七壬子十月吉日吉橋村	(月) (日) (梵字ウーシ) (六臂青面金剛像) (雄鶏・雌鶏) (邪鬼) (三猿)	奉造立青面金剛庚申
	善三郎 傳三郎 十三郎 七郎兵衛 新之丞 勘十郎 平次郎 十治郎 小平○	磯平 長三郎 崑左エ門 五右エ門 磯右門 ○五兵衛 八右門 勘拾郎	○平次 市郎兵衛 ○之丞 三之丞 ○○左門 金三郎 忠兵衛 吉三郎 久三郎

No.10	番号：55	庚申塔	所在地：吉橋 高本 八幡神社
造立年月日：元文 4・2・8 (1739)		像容：青面金剛・三猿 形状：光背型 法量：H91 cm W38 cm D33 cm	

銘文：奉供養庚申講中 施主敬白 為二世安樂也 (人名 17)

 <p>特徴：                  1. 邪鬼を省略                  2. 合掌型六臂青面金剛像、宝輪・弓・矛・矢を持つ 3. 三猿は正面向き、ダイヤ型                  4. 「講」⇒異体字</p>	左面	正面	右面
	元文四己未稔二月八日 施主敬白 久三郎 奉供養庚申講中 為二世安樂也	(日月) (六臂青面金剛像) (三猿)	崑 ○ ○ 平 ○ ○ 庄 次 ○ 權 ○ ○ 紋 四 郎 己 ○ (郎) 源 (兵) ○ ○ ○ ○ ○ 善 ○ ○ 久 ○ ○ ○ ○

No.11	番号：62	庚申塔	所在地：吉橋 花輪 八幡神社
造立年月日：延享 2・2・吉 (1745)		像容：青面金剛 形状：笠付角柱型 法量： H110cm W40 cm D41 cm	
銘文： 奉造立庚申講諸願成就所 吉橋村 はなわ(人名 31)			

	<p>特徴：</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. 笠の上の宝珠が笠と一体</li> <li>2. 合掌型六臂青面金剛像 宝輪・弓・矛・矢を持つ</li> <li>3. 雄鶏（振り向いて雌鶏を見る）・雌鶏</li> <li>4. 邪鬼が正面を向き、主尊を頭上に支え上げるよう力強く、立派である。</li> <li>5. 三猿は中央のみ正面向きで、写実的</li> <li>6. 縁枠内に彫像</li> <li>7. 彫りが丁寧で、美術的にも優れている。</li> </ol>	<p>左面</p> <table border="0"> <tr> <td>源三郎</td> <td>崑三郎</td> <td>文次郎</td> <td>五右エ門</td> <td>伊三郎</td> <td>儀右エ門</td> </tr> <tr> <td>久四郎</td> <td>源次郎</td> <td>權三郎</td> <td>勘四郎</td> <td>勘〇郎</td> <td>吉次郎</td> </tr> <tr> <td>清三郎</td> <td>八蔵</td> <td>善五郎</td> <td>長四郎</td> <td>傳三郎</td> <td>庄兵衛</td> </tr> <tr> <td>長三郎</td> <td>久五郎</td> <td>勘太郎</td> <td>三右エ門</td> <td>久三郎</td> <td>源四郎</td> </tr> <tr> <td>源五郎</td> <td>長五郎</td> <td>勝四郎</td> <td>清蔵</td> <td>平七</td> <td>權次郎</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>儀五郎</td> </tr> </table>	源三郎	崑三郎	文次郎	五右エ門	伊三郎	儀右エ門	久四郎	源次郎	權三郎	勘四郎	勘〇郎	吉次郎	清三郎	八蔵	善五郎	長四郎	傳三郎	庄兵衛	長三郎	久五郎	勘太郎	三右エ門	久三郎	源四郎	源五郎	長五郎	勝四郎	清蔵	平七	權次郎						儀五郎	<p>正面</p> <p>(六臂青面金剛像) (雄鶏・雌鶏) (邪鬼) (三猿)</p>	<p>右面</p> <p>延享二年 奉造立庚申講諸願成就所 敬白 丑二月吉日 者奈王 (はなわ)</p>
	源三郎	崑三郎	文次郎	五右エ門	伊三郎	儀右エ門																																		
	久四郎	源次郎	權三郎	勘四郎	勘〇郎	吉次郎																																		
	清三郎	八蔵	善五郎	長四郎	傳三郎	庄兵衛																																		
	長三郎	久五郎	勘太郎	三右エ門	久三郎	源四郎																																		
源五郎	長五郎	勝四郎	清蔵	平七	權次郎																																			
					儀五郎																																			


No.12	番号：67	庚申塔	所在地：吉橋 尾崎 字芝山
造立年月日：延享3・11・吉（1746）		像容：青面金剛 形状：笠付角柱型 法量： H102 cm W 44cm D42 cm	

銘文：奉供養庚申諸願成就之所同行五十三人



- 特徴：
1. 剣とショケラ（不完全な袋状）を持つ六臂の青面金剛像
  2. 目がアーモンド形
  3. 宝輪を持つ手が直角で水平に伸びる。
  4. 迫力がない邪鬼
  5. 台座に三猿、両端横向き、真ん中正面向き
  6. 縁枠内に彫像

左面	正面	右面
延 享 三 丙 寅 十 一 月 吉 日  同 行 五 十 三 人	(日 月) (六 臂 青 面 金 剛 像) (二 鶏) (邪 鬼)	奉 供 養 庚 申 諸 願 成 就 之 所
台座		
	(三 猿)	

No.13	番号：73	庚申塔	所在地：吉橋 寺台 字西芝山											
造立年月日：寛延 4・2・吉 (1751)			像容：青面金剛 形状：笠付角柱型 法量： H112 cm W53 cm D 38cm											
銘文：奉造立青面尊像一躰庚申講中吉橋村寺台 (人名 18)														
	<p>特徴：</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1.合掌型六臂青面金剛像、宝輪・弓・矛・矢を持つ</li> <li>2.笠破風に桔梗紋</li> <li>3.力強い優れた彫像</li> <li>4.正面向きの邪鬼の腕の下に聞か猿を配置する凝ったデザイン</li> </ol>	左面		正面	右面									
		寛延四年辛未二年吉辰日吉橋村寺臺		(日月) (六臂青面金剛像) (二鶏) (邪鬼) (三猿)	奉造立青面尊像一躰庚申講中									
		伊兵衛	市三郎				市兵衛	金左門	源七郎	嘉平治	源次郎			
				久左門	半四郎	長重郎	安五郎	傳三郎	新五郎	勘兵衛	神觀房	庄右門	文右門	与市

No.14	番号：86	庚申塔	所在地：吉橋 高本 八幡神社入口
造立年月日：宝暦9・10・吉 (1759)		像容：青面金剛 形状：駒型 法量：H67 cm W44 cm D c38m	
銘文：講中廿六人			



特徴：

1. 剣と、目鼻口のような彫りのある丸い袋状のものを  
持つ六臂の青面金剛像。上記二臂以外の四臂は彫りが  
浅い。
2. 目がアーモンド形
3. 宝輪を持つ手が直角で水平に伸びる。
4. 邪鬼が、迫力がない。
5. 三猿は両端横向き、真ん中正面向きで、三角形に配  
置する。

左面

正面

右面

宝暦九

卯十月吉

(六臂青面金剛像) (二鶏) (邪鬼) (三猿)

講中廿六人

No.15	番号：96	庚申塔	所在地：吉橋 寺台 字西芝山
造立年月日：明和 2・2・吉 (1765)		像容：三猿 形状：笠付角柱型 法量： H100 cm W46 cm D38 cm	
銘文： ③青面金剛尊 寺台講中廿八人			



特徴：

- 1.均整のとれた笠付の文字塔
- 2.剛⇒異体字、講⇒構
- 3.中央正面、両脇内側横向きの三猿

左面

正面

右面


二月吉日  
寺基構中廿八人

(日月) (梵字ウーシ)  
青面金剛尊 (三猿)


明和二乙酉天





No.16	番号：110	庚申塔	所在地：吉橋 花輪 八幡神社
造立年月日：安永 4・12.吉 (1775)		像容：青面金剛 形状：笠付角柱型 法量： H 97cm W44 cm D33 cm	
銘文：奉造立青面金剛 花輪講中			


 <p>特徴：</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. 合掌型六臂青面金剛像 宝輪・弓・矛・矢を持つ</li> <li>2. 三猿がない</li> <li>3. 邪鬼の下に鶏 (左の鶏は欠損)</li> <li>4. 邪鬼は横向き</li> <li>5. 丸みを帯びた柔らかな像容</li> </ol>	左面	正面	右面
	安永四天十二月吉日	(日月) (六臂青面金剛像) (邪鬼) (雄鶏・雌鶏)	奉造立青面金剛 花輪講中


No.17	番号：129	庚申塔	所在地：吉橋 高本 八幡神社
造立年月日：寛政 6・11・吉 (1794)		像容： 日月・三猿 形状：駒型 法量： H 103cm W55 cm D53 cm	
銘文： ③青面金剛王(人名 16)			

	<p>特徴：</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1.日月の雲の意匠が洗練されている。</li> <li>2.三猿が写実的</li> <li>3.剛⇒異体字</li> <li>4.雲の下に、梵字（ウン）あり</li> </ol>	裏面	左面	正面	右面
		<p>茂右工門</p>	<p>峯吉 稻吉 佐右工門 源藏 新藏 次郎兵衛 新平 祐藏</p>	<p>（日月） （梵字「ウン」） 十一月吉日 青面金剛王 （三猿）</p>	<p>寛政六寅年</p> <p>七蔵 半兵衛 太左工門 権平 佐平次 清右工門 佐七</p>

No.18	番号：138	庚申塔	所在地：吉橋 花輪 八幡神社	
造立年月日：寛政 12・11・吉 (1800)		像容：三猿 形状：駒型 法量： H94 cm W 47cm D42 cm		
銘文： ③青面金剛 吉橋村 花輪講中三十二人				
	特徴：	左面	正面	右面
	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 文字塔</li> <li>2. 三猿と日月の浮彫（彫りは浅い）</li> <li>3. 三猿は正面向き</li> <li>4. 寛政・剛⇒異体字</li> </ol>	<p>吉橋村 花輪講中 三十二人</p>	<p>(日月) (梵字ウーシ)</p> <p>青面金剛</p> <p>(三猿)</p>	<p>寛政 十二 庚申 十一月 吉日</p>


No.19	番号：143	庚申塔	所在地：吉橋 尾崎 字芝山		
造立年月日：享和3・10・吉（1803）			像容：三猿 形状：駒型 法量：H126 cm W 51cm D51 cm		
銘文：㊦ 青面金剛王 吉橋村 四拾七人 講中					
	特徴： 1.行書体の文字塔 2.亥⇒異体字 3.日月の間に梵字		左面	正面	右面
			吉橋村 四拾七人講中	(日月) (梵字ウーシ) 青面金剛王 (三猿)	享和三癸亥 十月吉日

No.20	番号：155	庚申塔	所在地：吉橋 花輪 八幡神社		
造立年月日：文化6・2・吉（1809）			像容：三猿 形状：駒型 法量：H97 cm W49 cm D 34cm		
銘文：奉納青面金剛三千体諸願成就攸 天下和順日月清明 下総千葉郡吉橋村小川市良兵衛					
	特徴： 1.文字塔。『無量寿経』の一文「天下和順 日月清明」が願文に添えられてある。 2.個人による奉納 3.右上部 日輪と梵字を欠損 4.三猿 左右は内側横向き 彫りは浅い。 5.面・剛・清⇒異体字		左面	正面	右面
			下総千葉郡 吉橋村 小川市良兵衛	(日月) (梵字) 奉納青面金剛三千体諸願成就攸 (三猿) 日月清明 天下和順	文化六己二月吉日


No.21	番号：149	庚申塔	所在地：吉橋 寺台 字西芝山		
造立年月日：文化 13・2・吉 (1816)		像容：三猿 形状：駒型 法量： H 85cm W44 cm D45 cm			
銘文：青面金剛王 寺台					
	<p>特徴：</p> <p>1.文字塔</p> <p>2.剛⇒異体字 青⇒月が日</p> <p>3.三猿が小さく稚拙な彫り</p> <p>中央と左の猿は正面向き、右は横向き</p>	左面	正面	右面	
		二月吉日	(日月) 青面金剛王 (三猿)	文化十三丙子年 寺臺	

No.22	番号：179	庚申塔	所在地：吉橋 高本 八幡神社
造立年月日：文化 15・4・吉 (1818)			像容：日月・三猿 形状：駒型 法量： H126 cm W63 cm D 52cm


銘文： 青面金剛王 高本講中(人名 19)


	特徴： 1.篆書風の書体 2.日月の一部が駒型の稜線の上に出る 3.台座が下すばまりの台形 4.台座に枠取りし、三猿を正面向きで浮彫 5.人名が苗字入り	左面	正面	右面															
	寅四月吉日	(日月) 青面金剛王	文化十五年 高本講中																
	台座																		
湯浅源助	湯浅庄兵衛	湯浅源治良	近藤与兵衛	安原傳兵衛	安原半兵衛	安原勘左工門	湯浅四良右工門	安原九右工門	(三猿)	中村仙之助	中村要蔵	湯浅源平	中村九良右工門	中村五良左工門	湯浅長右工門	湯浅三郎兵衛	湯浅庄右工門	中村七郎左工門	安原四良兵衛

No.23	番号：206	庚申塔	所在地：吉橋 尾崎 字芝山
造立年月日：文政 10・2・吉 (1827)		像容：なし 形状：駒型 法量： H68 cm W39 cm D30 cm	
銘文：庚申塔 (人名 9)			

特徴： 1.台座は新しく、再建か？ 2.日月は線彫り	左面	正面	右面
		六右工門 八郎兵工 久藏	文政十亥年 庚申塔 (日月) 二月吉日



No.24	番号：222	庚申塔	所在地：吉橋 花輪 八幡神社
造立年月日：天保3・11・訶日（1832）		像容：日月 形状：駒型 法量：H125 cm W49 cm D 50cm	
銘文：庚申塔 花輪台 講中			
 <p>特徴：</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1.文字塔。字体は行書に近い筆太の楷書体</li> <li>2.日月のデザインと彫が優れている。</li> <li>3.「吉日」ではなく、「訶日」の銘</li> </ol>	左面	正面	右面
	天保三 壬辰 十一月訶日	(日月)  庚申塔	(銘文なし)
		台石	
	中講	花輪台	


No.25	番号：226	庚申塔	所在地：吉橋 尾崎 大師堂		
造立年月日：天保 5・11・吉 (1834)			像容：三猿 形状：駒型 法量： H156cm W56 cm D53 cm		
銘文： 庚申塔 尾崎台 講中					
		<p>特徴：</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1.文字塔（太文字で力強い字体）</li> <li>2.日月の一部が駒型の上に出る</li> <li>3.三猿の左右（見ざる・言わざる）が下部角に浮彫</li> </ol>	左面	正面	右面
			十一月吉日	(日月) 庚申塔	天保五年
			台座		
				中 講	尾崎臺


No.26	番号：231	庚申塔	所在地：吉橋 高本 八幡神社入口
造立年月日：天保9・3・吉（1838）			像容：なし 形状：駒型 法量：H104 cm W 60cm D39 cm
銘文：庚申塔（人名18）			




- 特徴：
1. 流麗な草書体風の文字塔
  2. 日月もしつかりと浮彫

左面	正面	右面
三月吉日	(日月) 庚申塔	天保九戌年
台座		
三左工門	三良兵工 五兵工 勘左工門	七良兵工
庄兵工	九良左工門 常右工門 市左工門	三右工門
源治良	七良左工門 五良左工門 四良兵工	七良兵工
与兵工	三右工門	
傳三良		
傳兵工		
半兵工		

No.27	番号：251	庚申塔	所在地：吉橋 寺台 字西芝山			
造立年月日：弘化3・11・吉（1846）		像容：なし			形状：駒型	法量： H 85cm W 51cm D35 cm
銘文： 庚申塔						
	<p>特徴：</p> <p>1.文字塔</p> <p>2.台座が失われている可能性あり</p>	左面	正面	右面		
		十一月吉日	(日月) 庚申塔	弘化三丙午年		


No.28	番号：252	庚申塔	所在地：吉橋 花輪 八幡神社		
造立年月日：弘化4・2・吉(1847)		像容：日月 形状：駒型 法量：H130 cm W50 cm D46 cm			
銘文：庚申塔 花輪講中					
	特徴： 1. 文字塔。字体は行書に近い楷書体	左面	正面	右面	
		三月吉日	(日月) 庚申塔	弘化四丁未年	
			台石		
			輪 花 中 講		

No.29	番号：303	庚申塔	所在地：吉橋 尾崎 大師堂	
造立年月日：文久元・11・吉（1861）		像容：なし 形状：自然石 法量： H 173cm W 66cm D40 cm		
銘文：庚申塔 尾崎台講中				
<p>特徴：</p> <p>1.自然石で風雅な石塔</p> 			正面	裏面
			(日月) 庚申塔	文久元酉十一月吉日
			台座	

No.30	番号：304	庚申塔	所在地：吉橋 高本 八幡神社
造立年月日：文久元・11・吉（1861）			像容：三猿 形状：駒型 法量： H120 cm W60 cm D60 cm
銘文： 庚申塔 村講中(人名 20)			

	<p>特徴：</p> <p>1.人名が苗字入り</p> <p>2.台座の三猿の彫りは浅い。</p> <p>3.両端の猿は内側へ横向き</p>	左面	正面	右面	
			(日月) 庚申塔	西 十一月 吉日	文久元年
		台座			
世 話 人		村講中 中村 九良左工門 湯浅 三良兵工 安原 四良兵工 中村 七良左工門 安原 半兵工 湯浅 三右工門 湯浅 七良兵工 湯浅 市左工門 湯浅 長右工門 中村 五良左工門	(三猿)	湯浅 三左工門 湯浅 權平 湯浅 庄兵工 湯浅 源治良 近藤 与平工 安原 傳三良 安原 傳兵工 安原 勘左工門 湯浅 四郎右工門 安原 五兵工	

No.31	番号：341	庚申塔	所在地：吉橋 尾崎 字芝山
造立年月日：明治 17・10・吉 (1884)		像容：なし 形状：駒型 法量： H 70cm W37 cm D28 cm	
銘文：庚申塔 (人名削除の跡)			

	特徴： 1.日月は線彫り 2.建立日を「吉旦」としている 3.左側面の寄進者名をモルタルで塗って隠してある (現在は読み取り不可)	左面	正面	右面
	(人名削除の跡あり)	(日月) 明治十七年 庚申塔 十月吉旦		



No.32	番号：345	庚申塔	所在地：吉橋 花輪 八幡神社
造立年月日：明治 18・12・吉 (1885)		像容：なし 形状：駒型 法量： H 96cm W46 cm D 34cm	
銘文： 庚申塔 講中			



特徴：  
 1.文字塔  
 2.石質が悪く、正面上部剥落。

左面	正面	右面
	(庚申)塔	明治十八酉年十二月吉日
	台石	
	花輪 中講 當村	

No.33	番号：349	庚申塔	所在地：吉橋 高本 八幡神社
造立年月日：明治 20・11・吉 (1887)		像容：三猿 形状：駒型 法量： H 96cm W50 cm D 50cm	
銘文： 庚申塔 当邨講中			



特徴：  
 1 「明」の字⇒「目」+「月」  
 2.左右の日月はともに円形  
 3.台座の「村」が旧字の「邨」

左面	正面	右面
	(日月) 庚申塔 明治廿年 十一月吉日	
台座		
	中 講	當邨

No.34	番号：359	庚申塔	所在地：吉橋 寺台 字西芝山
造立年月日：明治 27・5・吉 (1894)		像容：なし 形状：駒型 法量： H 93cm W 53cm D 54cm	
銘文： 庚申塔 西たかもと かまがや 東かや田 南大和田新田 船橋道 寺台 (人名多数)			



- 特徴：
- 1.道標付文字塔  
(『八千代の道しるべ』J07)
  - 2.台座に人名多数あるが、風化と埋没のため、判読できない。
  - 3.庚⇒異体字

左面	正面	右面
明治二十七年五月吉日	(日月) 庚申塔	南 東 西 大 か た 和 や か 田 田 も 新 田 と 田 船 道 橋 橋 か 道 道 や
台座		
		人 ○ 世 寺 墓 (人名多数) 判読不可


No.35	番号：418	庚申塔	所在地：吉橋 花輪 八幡神社
造立年月日：昭和 43・11・10 (1968)			像容：なし 形状：平石型 法量：H 116cm W80 cm D 30cm
銘文：庚申塔 花輪講中 明治百年記念			



## 特徴：

- 1.文字塔
- 2 納税組合と長寿会による.明治百年記念碑
- 3.「花輪／講中」の文字は、2 段に右から横書き

正面	背面
<p>明治百年記念</p> <p>庚申塔</p> <p>花輪 講中</p>	<p>昭和四十三年十一月十日</p> <p>納税組合壹万五千円</p> <p>長寿会 五千円</p>

No.36	番号：427	庚申塔	所在地：吉橋 尾崎 字芝山		
造立年月日：不明（江戸中期）		像容：青面金剛 形状：笠付角柱型 法量：H114 cm W46 cm D 46cm			
銘文：吉橋村 尾崎講中					
	<p>特徴：</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>江戸中期と推定される優れた像容の合掌型六臂青面金剛像</li> <li>右側面の記年銘が「戊」1字のみしか残存していない。</li> <li>邪鬼の下には、中央に烏帽子をかぶり御幣を担いで踊る猿の立像、その両端に雄鶏雌鶏を配置する</li> <li>赤彩が残る</li> </ol> <p>☆年代の考察</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>笠の形状、青面金剛像と邪鬼の像容が、船橋市本町の覚王寺の安永5年11月の庚申塔に類似している。</li> <li>一猿二鶏の構図は寛文4年（1664）足立区から元文5年（1740）の作例がある</li> <li>烏帽子をかぶり御幣を担いで踊る猿の立像は、寛文～安永期（1660～1780）に関東各地で散見される。</li> <li>安永7年は戊戌</li> <li>以上から安永7年（1778）と推定される。</li> </ol>	左面	正面	右面	
	吉橋村 尾崎講中	（日月） （六臂青面金剛像） （邪鬼） （一猿二鶏）	（風化） 戊		